

静かに広がる社会問題、 「入れ歯難民」を ご存知ですか？

「入れ歯をなくした、壊れた。
でも、すぐに作れない」

高齢化社会の裏側で、適切な義歯治療を受けられず、
“食べる”という基本的な喜びを失う人々が急増してい
ます。これは単なる個人の不運ではなく、日本の医療
制度が直面する構造的な危機です。



迫り来る「需要の津波」と「供給の崩壊」

義歯需要の津波

2025年問題:

団塊の世代が75歳以上に。
義歯を必要とする人口がピークに。

2040年問題:

医療を受ける側が激増し、
支える現役世代が激減。

供給体制の壁

歯科医師の高齢化:

義歯治療を支えてきたベテラン医師が次々引退。

歯科技工士の激減:

若者が去り、作り手がいなくなる「絶滅危機」。

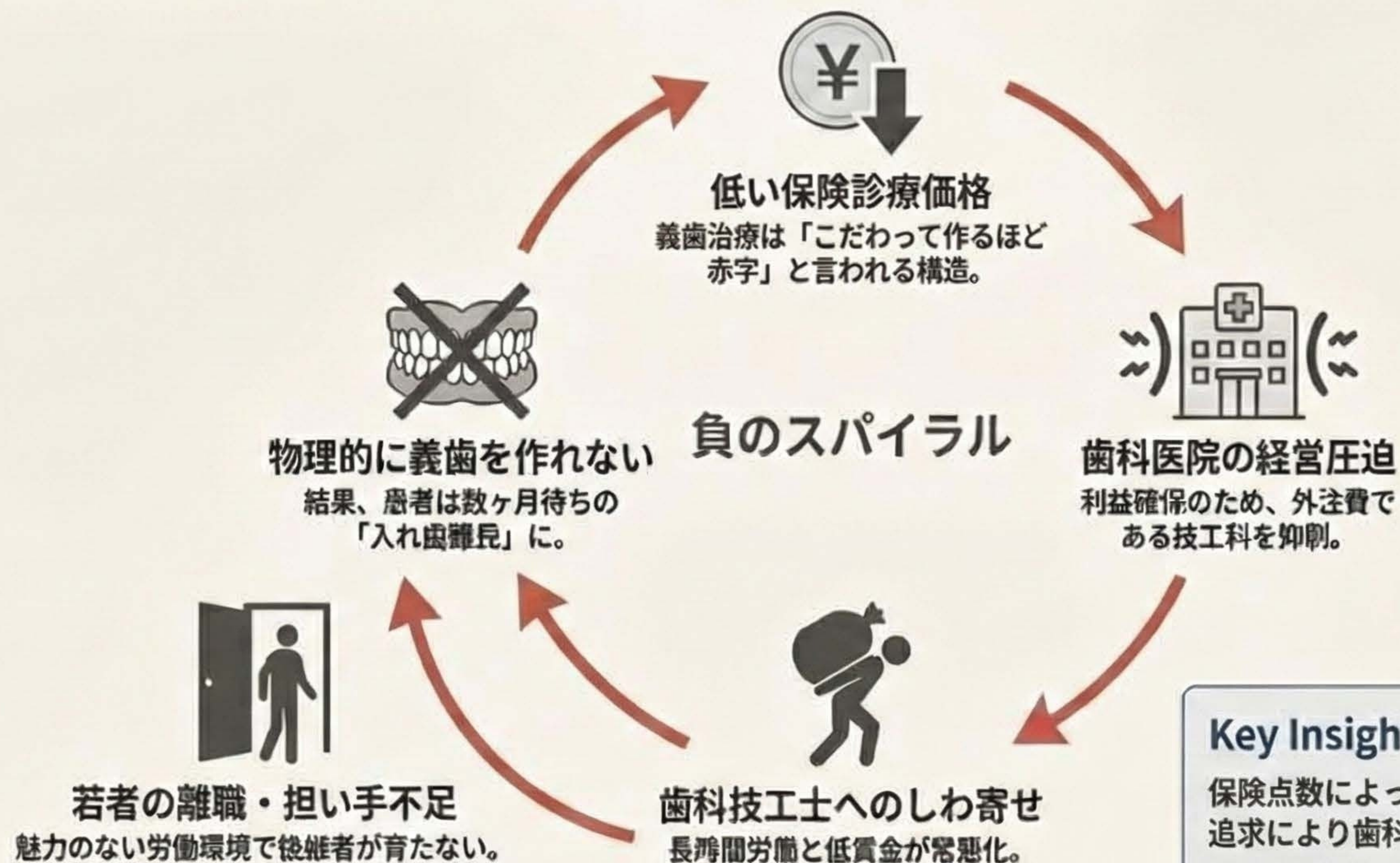
ベテラン歯科医師

ベテラン歯科医師

歯科技工士

歯科技工士

なぜ作り手は消えるのか？ 報われない「職人」たちの現実



Key Insight

保険点数によって一定価格の治療＋歯科医院の利益追求により歯科技工物は価格競争に陥りやすい。

発想の転換：入れ歯を「モノ」から「情報資産」へ

従来の常識



紛失・破損のたびに、
ゼロから作り直し。

型取り、模型製作、咬合採得…
完了まで1～2ヶ月。



「入れ歯銀行」

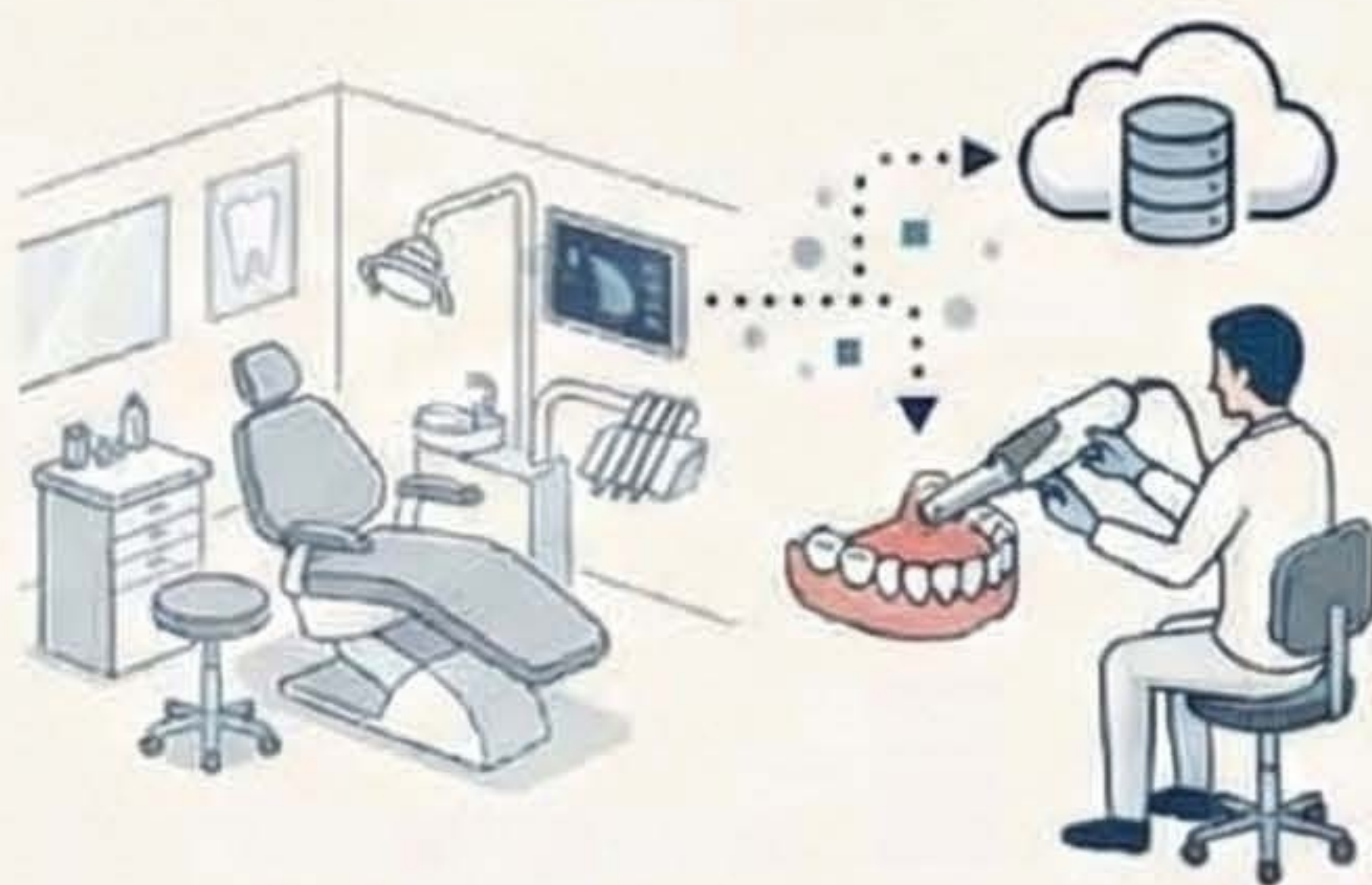


今ある最高の入れ歯を
デジタルデータで「預金」。

万一の際はデータから
全く同じものを即座に「出金」。

わずか3ステップで、“食べる”安心を未来へ保管

1 スキャン・預け入れ



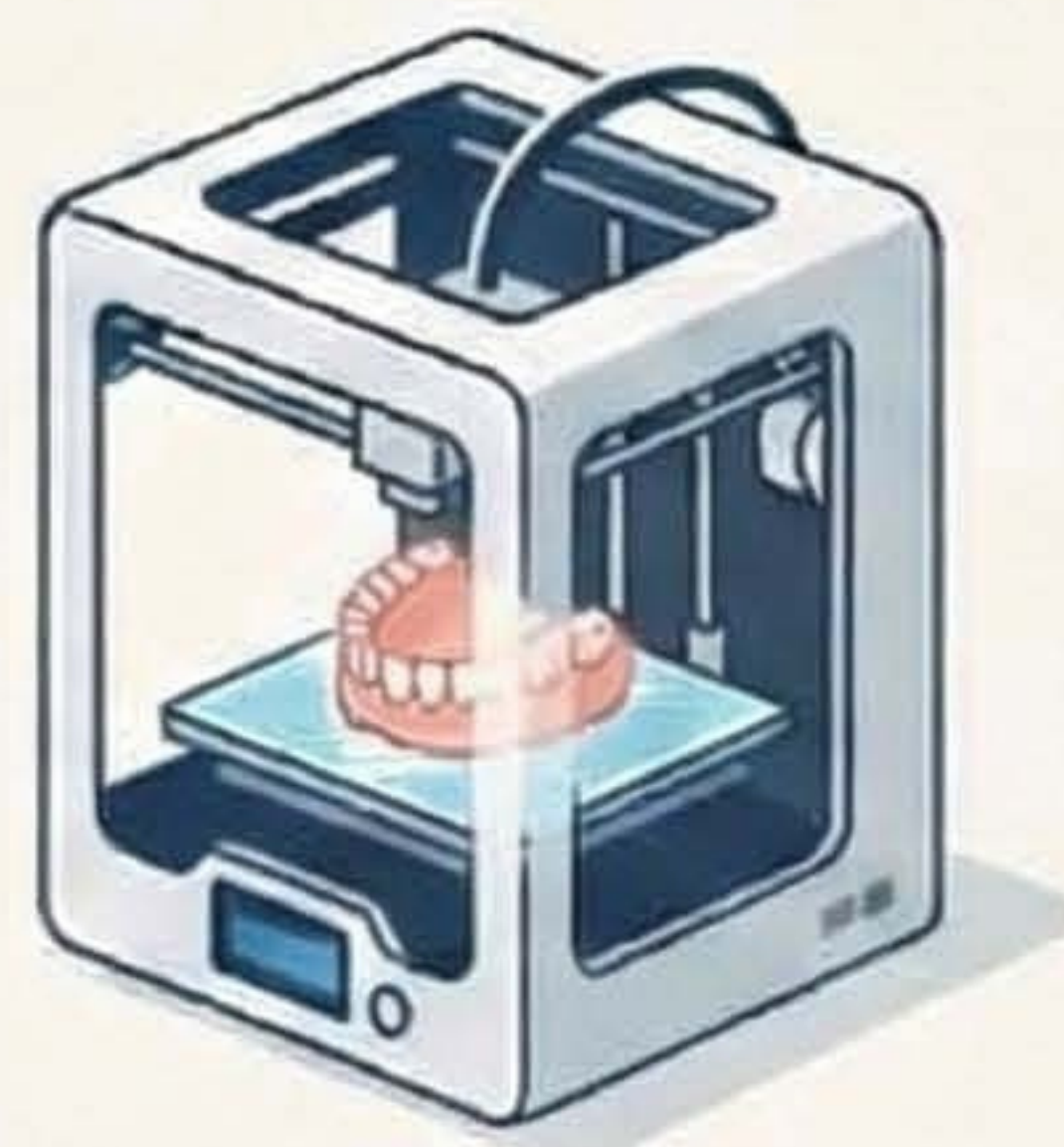
全国の提携歯科医院（支店）で、今お使いの入れ歯を3Dスキャン。デジタルデータとしてクラウドに保管します。保管料は無料です。

2 データ保管



データは海外サーバーを含む3箇所に分散管理。災害時でも安全です。

3 製作・引き出し



紛失・破損時にデータを引き出し、3Dプリンター等で即座に製作。札幌のラボから全国へお届けします。

従来 1-2ヶ月



入れ歯銀行 最短翌日発送

「もしも」の時に、家族と本人を守るデジタルのお守り

災害への備え



避難時に持ち出せなくても、データさえあれば大丈夫。食事ができず体力が落ちる二次災害を防ぎます。

認知症・介護対策



ご本人が通院できなくても、ご家族が電話一本で再製作を依頼可能。施設での紛失トラブルにも対応。

予備・衛生管理



旅行用の予備や、夜間洗浄中の”顔”を保つためにも。清潔な予備は誤嚥性肺炎の予防にも繋がります。

かかりつけ医の喪失



引っ越しや医院の閉院で通えなくなっても、データがあれば新しい歯科医院に治療を引き継げます。

安心を広めるための料金体系：入口は広く、出口は明確に

無料で始められる「預け入れ」

サービス項目：データ預け入れ・保管料

無料

まずは金銭的リスクなく、万への備えを始めることができます。これは私たちの社会貢献活動の一環です。

必要な時だけ費用が発生する「引き出し」

サービス項目：義歯製作費

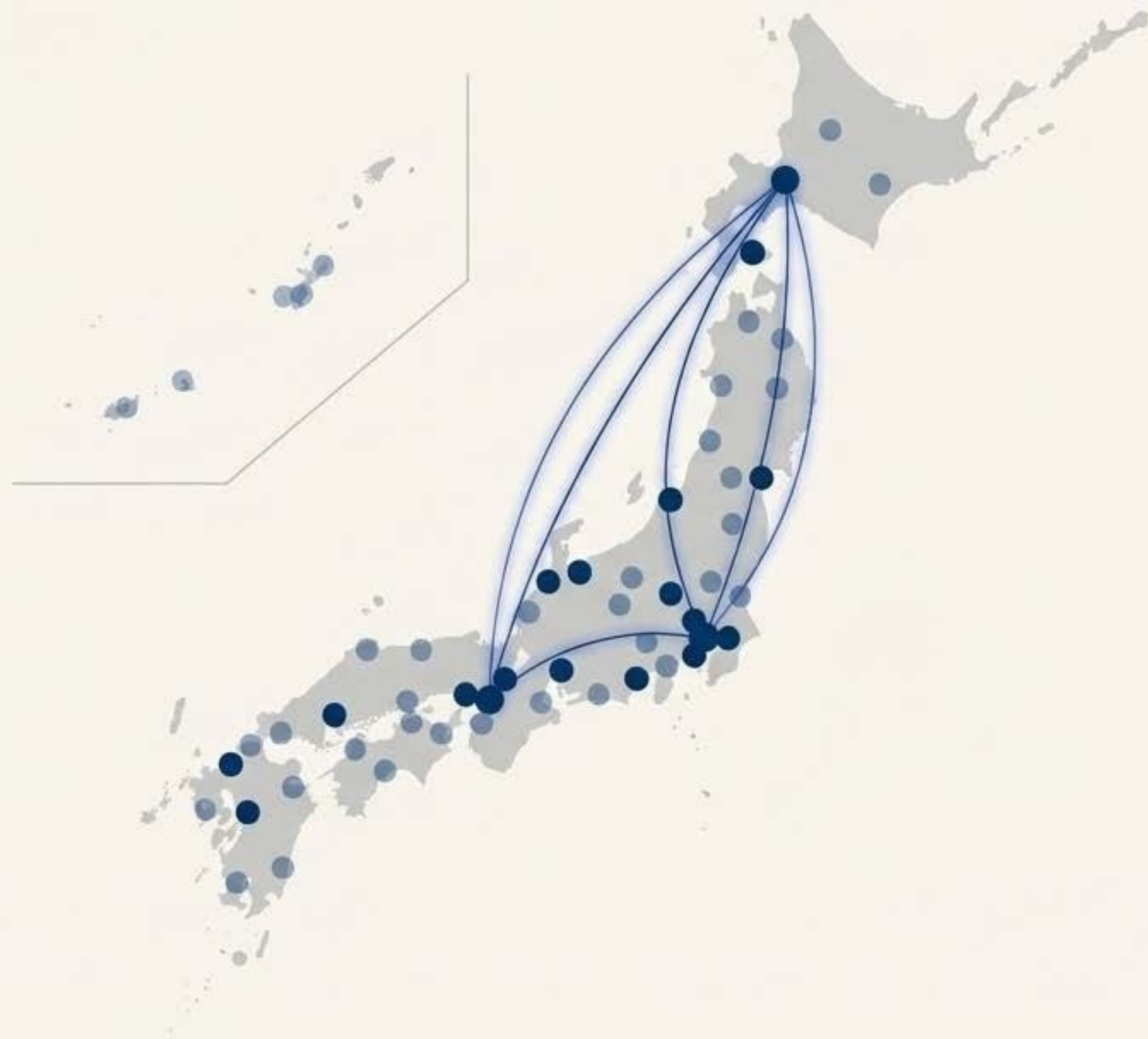
費用

(例) 総義歯1個 26500円～

※自由診療

実際に義歯を紛失・破損したり、予備が必要になった時点で初めて費用が発生する、合理的で安心なモデルです。

「入れ歯銀行」が、日本の新しい社会インフラになる日



全国ネットワーク構想

現在約20拠点。将来的には全国100医院（10万人に1医院）を目指し、誰もがアクセスできる体制を構築。

地域格差の解消

北海道の最先端ラボが、東京や大阪の患者様の義歯を製作。デジタル技術が物理的な距離を無効化します。

未来への備え

労働人口が減少する未来を見据え、持続可能な歯科医療供給体制をデジタルで築きます。

伝えるべきは、歯の物語ではない。 日本の未来を守る物語だ。

尊厳

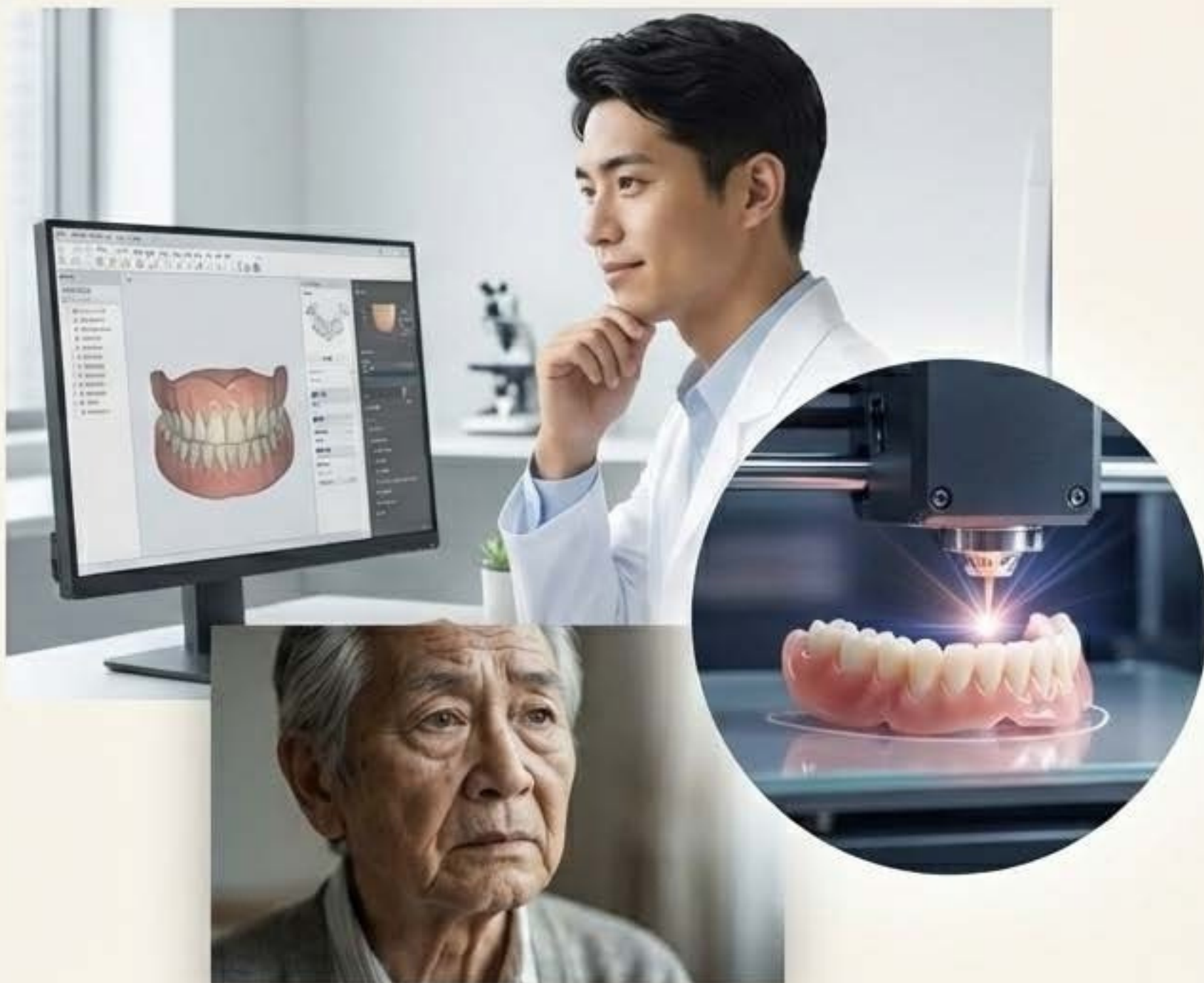
高齢者が“食べる”喜びと尊厳を、
最後まで守るための挑戦。

安心

災害大国・日本で、誰もが「もしも」に
備えられる新しいセーフティネット。

希望

衰退する日本のモノづくりと職人技を、
デジタル技術で未来へ繋ぐ再生の物語。



デジタルが救う！日本の「入れ歯難民」危機

深刻化する「入れ歯難民」問題

需要爆発

2025年問題で高齢者が急増、しかし入れ歯を作る職人がいなくなっています。



VS

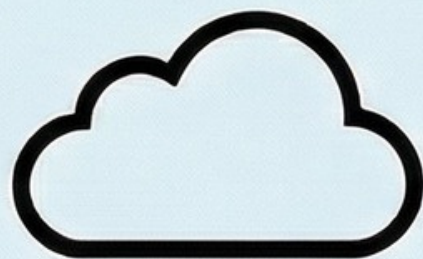


供給崩壊

歯科技工士が絶滅の危機：過酷な労働環境・低賃金でなり手激減

未来の解決策「入れ歯銀行」

入れ歯をデータで「預金」



入れ歯をデータで「預金」

3Dスキャン・クラウド保管：いつでも全く同じものを複製



災害・介護の「お守り」に



紛失・破損してもデータがあれば、電話一本で遠隔地からでも再製作が可能です。

製作期間：数ヶ月 → 数日へ



従来 1～2ヶ月

数日

デジタル技術で劇的に短縮